

津幡南中学校
1年学年便り



Challenge

令和3年9月27日発行

津幡南中学校長 永井 隆和
1年 学年主任 田村 隆一

No.7

☆学年プログラム委員が前期を振り返りました！

前期、最後のプログラム委員会で振り返りをしました。「学級の雰囲気が良くなった。」「授業中の私語が課題だったが、取り組みによって少なくなった。」「授業中の挙手が少なくなった。」というような振り返りが出ました。そして、学年目標「仲間と協力して、あきらめない心を持つ！」の達成度合いは、65%だと考えました。行事や様々な取り組みでの協力は見られたものの、粘り強く学習や自分の仕事に取り組むという点では不十分であったと感じたからです。

前期のプログラム委員はとても明るく、活動的で、様々な活動にも一生懸命に取り組み、周囲に働きかけをしてくれました。その功績はとても大きかったです。後期もそれぞれの立場で力を発揮してほしいと思います。

○久保石七海（1年1組 会長）

中学校という新しい環境に入って、慣れないこともありましたが、みんなをしっかりとまとめることができました。前期会長をやっている、1組の良いところだと思ったことは、明るくて、みんな仲が良いことです。また、プロ委では月毎に学年の改善点を考えて対策を練るのですが、1組は私たちプロ委が考えた取り組みを積極的に取り組んでくれていたので良かったと思います。逆に改善点は休み時間ギリギリまで遊んでいるところです。こういった学級・学年の改善点をもとに、より良い学年にできるよう後期の人たちも頑張してほしいと思います。

○石原 至真（1年1組 副会長）

前期を振り返ってみて、1組は「水滴石穿」という目標にはあまり近づけなかったけど、学級目標の「青蝶」に近づくことはできたと思います。理由は、みんなあきらめず、成長できたからです。まだまだこのクラスは完ぺきではないですが、みんな頑張っていたと思います。会長と副会長は話し合いが必要だったと思いました。前期、ありがとうございました。

○北川 蒼真（1年2組 会長）

前期の初めは、私語をひとりがすると、そこからどんどん私語が広がっていくところや雰囲気に流されてしまうことが課題でした。でも、みんなすぐに直してくれたので、僕は少し注意するだけでよかったです。1年2組はとてもすごいクラスだなと思いました。後期の会長には、今の状態を持続することと、ほんの少し自分から行動できる積極性をつけて欲しいです。とても良い経験ができました。

○谷口 深愛（1年2組 副会長）

前期を振り返って、1年2組は授業中の私語が減り、とても良い雰囲気で授業を受けられていると思います。このまま3学期まで続けていけたらいいなと思います。ですが、改善点もまだまだたくさんあると思います。だから、2学期から3学期は新しいリーダーを中心に改善していき、「笑顔の絶えないクラス」を全員で協力して作ってほしいと思います。

○河端 莉子（1年3組 会長）

1年3組は半年間で私語の量がとても減りました。そのため、4月に比べて休み時間と授業中のメリハリがついています。学年目標である「仲間と協力し、あきらめない心を持つ」ということでは、遠足などの行事や学級活動で少しずつ協力ができるようになりました。まだ、学級にも学年にも改善点はたくさんありますが、前期のプロ委として少しでも良い方向に引っ張って行くことが出来て良かったです。

○高磯 空汰（1年3組 副会長）

自分は前期を振り返って、全体的に良かったと思います。1学期の初めは授業中の私語が多く、態度が良くなかったけど、声をかけるようになってから少しずつ良くなっていきました。2学期になってからは私語がなくなったので良かったと思います。これからもプロ委としてではないけれどクラスを引っ張ってきたいです。

○伊東 花奏（1年4組 会長）

私は自分の仕事に責任をもって、最後まで会長をやり遂げることが出来たと思います。注意や呼びかけをしたり、みんなをまとめたりするなどクラス、学年を引っ張っていくのは大変だったけど、ここまで来れて良かったと思いました。1年4組はみんな協力をする事が出来るクラスです。でも、授業中に私語をする人や姿勢が悪い人がまだいます。後期はそれを改善し、楽しく明るいけれどメリハリのあるクラスになってほしいです。

○得能 倅太（1年4組 副会長）

僕は前期を振り返って、最初は副会長の仕事に慣れず、上手くいかないこともあったけど、他のプロ委の人や1年4組の人たちの手助けもあり、無事前期を終えることが出来たので、良かったなと思いました。また、学年目標の「仲間と協力し合い、あきらめない心を持つ！」を一人ひとりが意識することが出来たと思いました。遠足でのレクリエーションで、仲間を応援したり、みんなで話し合って作戦を立てたりと協力することが出来たからです。今後もこの経験を活かして、いろいろなことに積極的に取り組んでいきたいです。

○中村 美尋（1年5組 会長）

自分は前期を振り返ると、自分の仕事はしっかり出来たこともあったけど、出来なかったこともあったので反省しています。後期の会長には、自分よりもっとまとめられるように頑張りたいです。そして、副会長にも会長を支えられるように頑張りたいです。会長をして、楽しかったことや難しかったことがあったけど、プロ委のみんなと活動をともしてきて、とても良かったです。最後に運動会があるのでみんなで協力して成功し、最高の思い出にしたいです。

○本山 夏寧（1年5組 副会長）

私は前期を振り返って、たまに副会長としての仕事を忘れてしまったこともあったけど、しっかりと会長を支えることが出来たので良かったです。そして、学級では4月の頃と比べて、とても明るい雰囲気になったし、たくさんの取り組みを通して、授業中の私語が減ったり、給食準備が早くなりました。たった4ヶ月ほどの間に、すごく成長できたと思います。それに学年としてみても、目標のに向かって頑張っていると思うので、後期も続けて行ってほしいです。

○藤本 瑛大（1年6組 会長）

クラスではじめのない明るいクラスをしっかり作ることが出来ました。しかし、まだ足りないところがあるので、会長ではなくなってもクラスの良くないところを改善していきたいです。前期はみんなの仲が良いクラスを作れたのでうれしかったです。

○新谷 歩美（1年6組 副会長）

副会長の仕事はたくさんあったけど、どの仕事も忘れずにすることが出来て良かったです。朝は、出席簿を取りに行くとき、先生方に会うので、元気よく挨拶をすることが出来ました。昼も明日の予定を確認しに行ったりと大変でしたが、やりがいのある仕事でした。最初の時より、学級の雰囲気がとても良くなった気がします。授業中の挙手が最初より多くなり、私語などが少なくなり、とても良い学級になりました。

